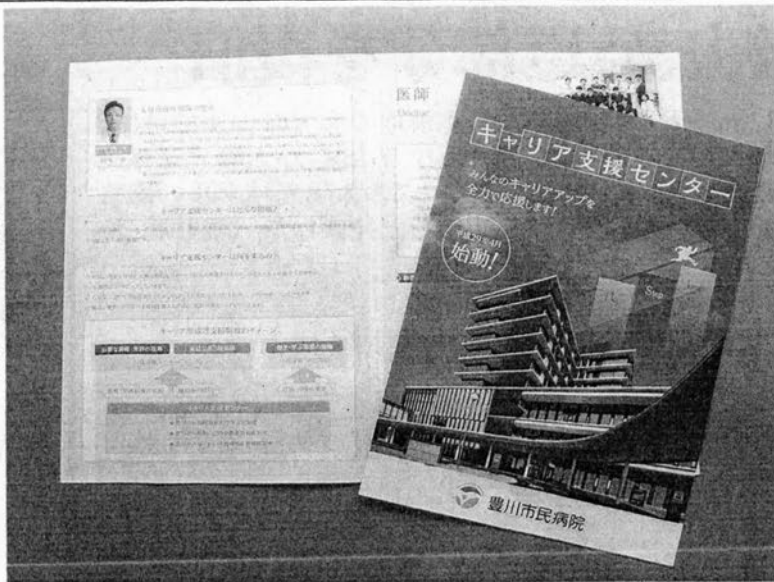


医師など全職種 キャリア支援



キャリア支援センターのパンフレット

豊川市民病院 センター開設

豊川市民病院は四月から、医師、看護師、事務職など全職種を対象としたキャリア支援センターを設け、人材育成のための総合的な支援に乗り出した。資格の取得などを促し、専門性の高い医療提供につなげる。

(吉田幸雄)

センターは常駐、兼務を含め十人体制。病院が必要と判断した資格、免許を取得するための受講料や旅費の支給に加え、独自の補助金交付などで支援する。対象とする資格などはセンターから提案したり、各部門からの相談を受けたりして決める。支援内容をまとめたパンフレットも用意した。

今後、各職種とも専門的な資格を取得する必要性が高まるとみられることから、センターはまず、職員の現在の資格取得状況を調べる。

支援の対象は全職員約千人のうち、パートなどを除いた医師、看護職、医療技術職、事務職、技能労務職の約七百人。医師の場合、専門医を認定する第三者機関「日本専門医機構」が三年前にできた。来春から新たな規格

センター長の松本隆副院長は「各部門のノウハウを共有しながら、高いレベルの人材育成と安定した人材確保につなげた。」と話した。

同病院ではこれまで、医師、看護など職種ごとに人材育成を進めてきた。